

近畿中国森林管理局

# 箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

## モデル校(豊川北小学校)で4回の実践！

～森林環境教育プログラム作成のためのモデル校実践事業が終了～

森林環境教育プログラム等検討委員会(委員長:甲南大学谷口文章教授)が、子ども向けプログラム作成のため、豊川北小学校(大阪府箕面市)をモデル校に行っていた4回にわたる森林環境教育の実践が、10月26日に終了しました。この実践では、5年生87名全員を「木を診る」と「林を診る」の2グループに分け、計4回の連続性のある内容にしており、これまでに、7月に2回実施しています。10月は、3回目に現地での実習を行い、4回目に取りまとめと木工クラフトを行いました。

### ～3回目:現地での実習～

実践3回目となる10月5日(木)、5年生87名は、箕面国有林と豊能町民有林(大阪府)の2つのグループに分かれて実習を行いました。「木を診る」グループの子ども達は、箕面国有林において、ヒノキ林での間伐を実習として、各班ごとに選木、間伐、枝払い、玉切り、トラックへの積み込み等を体験しました。「林を診る」グループの子ども達は、豊能町の里山において、森林と棚田や畑とのつながりや、人工林の意味、台場クヌギと菊炭等について、現地を見ながら話を聞き、クヌギの伐採やゴボウ堀り、柿採り、栗・ドングリ拾い等を体験しました。



### ～4回目:取りまとめ&木工クラフト～

実践最終回となる10月26日(木)、豊川北小学校教室において、3回目の現場での実施内容の振り返りとまとめを行った後、さわやかな秋空の校庭で、木工クラフトを行いました。この木工クラフトでは、3回目の実践で子ども達自身が伐採・採取した間伐木や、ドングリ等を活用することで、森林の恵みや森林整備から木材等の利用まで、つながりを実感してもらう視点を重視しました。

子ども達は、自分達が山から持ち帰った材料に愛着がわいたのか、とても熱心に集中して作品作りに取り組んでいました。個性溢れる作品の数々は、名前入りで展示され、子ども達は給食の時間も忘れ、先生に強く促されるまで、それら作品の数々に見入っていました。

今後は、これまでの実践結果等を踏まえ、今年度中に、子ども向け森林環境教育プログラムを作成することとしています。



## スクール初！現場で木材利用の重要性を学ぶ！

～森林ボランティアマイスター養成スクールで集成材工場や県森林技術センター見学～

10月21日(日)、養成スクール初めての試みとして、「木材の特性と利用」に焦点をあてた先進地の視察を行いました。午前、「奈良県森林技術センター」で、木材の特性の講義を受け、木材の強度試験を見学しました。午後は、「トリスミ集成材株式会社・五条工場」で、木材の加工技術等の講義を受けた後、集成材の製造過程とバイオマス(おが屑)を活用したガス化コージェネレーションシステム等を見学しました。

スクール生にとって、川下である木材利用の現場を見学する機会は初めての人が多く、「普段接している木の違う側面を知ることができ、大変勉強になった」、「木材がより身近に感じられるようになった」等の感想が聞かれ、マイスター(名人)となる人材育成を目指す本講座においても、非常に有意義な見学会でした。



締め切り:11月30日

小～大学生を対象に「身近な森フォトコンテスト」作品大募集中！(詳しくは下記 URL をご覧下さい)

近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049 / FAX:075-414-9029 URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F

